

「海外の産業動向」 ーフィリピンの農水産物包装・流通事情ー

食品流通アドバイザー
田中技術士事務所
代表 田中 好雄



1. フィリピンの概要

フィリピン共和国は、7,000余の島からなり、面積が日本の約8割、その中に9,400万人の人々が生活する。首都マニラは人口1,100万人、主要産業は農林水産業でその従事者が38%を占める。一人当たりのGDP（国内総生産）はおよそ\$2,000、経済成長率7.6%、物価上昇率3.8%、失業率7.3%、輸出総額\$514億、輸入総額\$547億（いずれも2010年統計）で輸出品は電気・電子機器（60.5%・半導体が大半を占める）、輸送用機器等、輸入品は原料・中間財（37.4%・化学製品等の半加工品が大部分）、資本財（30.1%・通信機器、電子機器等が大部分）、燃料（17.4%、原油等）、消費財（13.5%）である。輸出先は日本（15.2%）、米国（14.7%）、シンガポール（14.3%）、中国（11.1%）、香港（8.4%）、輸入先は日本（12.3%）、米国（10.7%）、シンガポール（9.5%）、中国（8.4%）、タイ（7.1%）で我が国との経済関係の深さが窺える。

2. 包装技術の導入

この度、ODA（政府開発援助）の仕事でフィリピンを訪問し農水産物の競争力を強化するための「包装技術導入に関する調査」を実施して得られた要点を述べたい。

開発途上国の特徴として、「包装」はその国の経済状況を表す指標であり、機能と経済性を満

たす分野から浸透してゆく。そして産業基盤の構築が最重点課題であり、道路、輸送システム、情報メディア、食品・包装資機材の加工技術などがあげられる。

対象とする農水産物はドリアン・マンゴ（果実の王様・女王と言われる）、プロッコリー・カリフラワー（ハイエンド「高級」食材）、スイートポテト（健康・美容として今後可能性のある原料）、輸出品としてミルクフィッシュなどの燻製品、バラ・菊などの花卉類があげられる。近年、我が国においても量販店などでフィリピン産バナナ、パイナップル、マンゴ、オクラ等を目にするがASEAN諸国の中でもこの分野に力点を置き輸出振興を掲げる将来性のある国の一つである。

本調査の目的は、7,000余の島からなる肥沃な土地を生かし、農水産物に付加価値を付けて内需拡大・輸出振興を図るために、「包装技術」を軸とした現状の課題を整理して指針と対応を打ち出し、「技術協力プロジェクト」に結びつけるところにある。その中で重要と考えられるのは「輸送包装技術の改善」である。農水産物のサプライチェーンは栽培・収穫・処理・加工・包装・流通・喫食と言う過程を経るが、各地に点在する農水産物を大消費地であるメトロマニラやその近郊に集め、また輸出するためにムリ・ムダ・ムラのない流通体制を構築することである。

現状の課題として収穫後不可食部分を卸売市場でトリミングするための鮮度低下によるロス率・環境廃棄物問題の発生、木箱・カゴ・ポリプロピレンクロス袋、無包装による大量輸送時の取扱いの粗さ、振動・衝撃による品傷みなど商品の劣化が見られること。これらに対する指針としてダンボールと緩衝包装・個包装の組合せにより、商品流通時に利便性を付与し物理的な外部要因からの保護が必要であることを打ち出した。一方、フィリピンには20数社のダンボールメーカーが存在するが、その多くはバナナ、パイナップルなどの輸出果物用で、販売ロットが5,000ケース以上と大きく、農家やSMEs（零細起業家）は組合組織をつくり大量購入する必要がある。

開発途上国の特徴として包装資機材の入手が困難で、農水産物の流通基盤が構築しにくい例を多く目にしてきたがまさにその典型がハードルとして立ちふさがっていた。しかしながら、彼らは知恵を働かせて販売ロット数を少なくして済む無印刷や再利用の古ダンボールを使用しながら着実に輸送包装の改善を志している。また、国の機関が中心となり資機材の共同購入や契約栽培を仲介し効率的な生産体制を構築し、低金利の融資を資機材の購入に充てる支援をしている。

3. 今後に望まれること

ODAも従来の箱モノ（建物・倉庫や道路、橋、機材など）を開発途上国へ援助する時代は終わり、お互いが持つ知恵を出し合って「人・物・金・時間・情報・サービス」を効率的に使い、最大限の効果を達成する仕組みを相手国との多面的協議によって行っている。つまりソフトウェアを最小限のハードウェアと組み合わせることにより、また相手国の人的・組織的資源を有効に使い、目標と成果を引き出すことが使命となっている。

日本は世界有数の包装大国であり、国内のみ

ならず世界をリードしてゆく立場に立たされている。高度化・多様化・法制化・国際化する市場の中で我が国は重要な位置にあり、開発途上国の人々は目を輝かせて我が国の支援を待っている。

参考：<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/philippines/data.html>



白菜のトラック輸送（無包装）



キャベツの荷降ろし作業（50kg）

食品流通アドバイザー

田中技術士事務所

TANAKA Int'l P.E.Jp.Office

代表 田中 好雄

Representative Yoshio Tanaka

Food Packaging & Logistics・

QMS・EMS・FSMS Auditor

技術士（経営工学部門・農業部門）

TEL/FAX：03-3329-2043

携帯：080-3424-8380

e-mail：cetanaka@mb.infoweb.ne.jp

URL：<http://homepage3.nifty.com/tanakace/>
